



大間のマグロは、「クロマグロ」。別名「ホンマグロ」とも言われ、マグロの中では最も大型の種類。最大で3mを超えるものもある。大間でも最大440キロのものも水揚げされて、大間崎にあるマグロ一本釣りモニュメントのモデルとなっている。また価格も高く、平成25年の築地市場初セリでは、222キロのクロマグロに史上最高高値1億5,540万円がついた。まさに黒いダイヤ。



まぐろ一本釣りの町 おおま

マグロ一本釣りの町

大間町



アクセスガイド

飛行機

をご利用の場合

- ▶ 函館空港～大間町

函館空港	バス40分	フェリーターミナル	フェリー100分	大間町
青森空港	バス40分	青森駅	バス30分	野辺地駅
青森駅	バス40分	野辺地駅	バス60分	大間町
青森駅	バス45分	青森県観光物産館「アスパム」	バス160分	大間町
- ▶ 三沢空港～大間町

三沢空港	バス15分	三沢駅	バス20分	野辺地駅
三沢駅	バス15分	野辺地駅	バス20分	大間町

自家用車

をご利用の場合

- ▶ 東京・仙台～青森IC経由

東京	東北自動車道	9時間30分	青森IC	2時間40分	むつ市	60分	大間町
仙台	東北自動車道	5時間	青森IC	2時間40分	むつ市	60分	大間町
- ▶ 東京・仙台～八戸IC経由

東京	東北自動車道	8時間50分	八戸IC	2時間30分	むつ市	60分	大間町
仙台	東北自動車道	4時間20分	八戸IC	2時間30分	むつ市	60分	大間町

電車

をご利用の場合

- ▶ 東京駅～大間町

東京駅	新幹線	90分	仙台駅	新幹線	40分	盛岡駅	新幹線	35分	八戸駅	青い森鉄道	45分	大間町
野辺地駅	JR大湊線	60分	下北駅(むつ)	バス	100分	大間町	自家用車	60分				

フェリー

をご利用の場合

- ▶ 函館～大間町

函館	フェリー(季節によりダイヤが変更されます)	大間町	
距離	40km	所要時間	100分

大間町役場産業振興課商工観光係

〒039-4601 青森県下北郡大間町大字大間字大間104番地
TEL: 0175-37-2111 FAX: 0175-37-4744

大間町役場 URL <http://www.net.pref.aomori.jp/ooma/>
<観光情報はこちら>
大間わいどアップURL <http://oma-wide.net/index.html>





大間の特産品

大間牛
陸マガロ

大間牛(黒毛和種)は、大間で水揚げされる本マガロの大トロにも負けない最高等級のA5ランクに評価される肉も出ることから、「大間の陸マガロ」と呼ばれ、マガロに続く特産品として期待されています。

マガロ井

大間マガロの井ぶり。ご飯に豪快にのせられたマガロ。上品な味わいと、とろけるような食感をお楽しみください。



マガロだけ握り

大トロ、中トロ、赤身。大間マガロをご堪能ください。自然に笑顔がこぼれます。

べこもち

色を練りこんだもちを、花模様や絵柄になるように組み合わせ蒸した。見た目も美しい、やさしい甘さの大間の伝統名菓です。



マガロ珍味

マガロの内臓を使った珍味。チュウ(胃袋)の酢味噌和え、血合いの角煮など地元ならではの貴重な味わいです。

お菓子



貝をかたどったあわび最中や、マガロDHAパウダー入りのブッセなど大間のスイーツをどうぞ。

海産物

津軽海峡で獲れるうに、アワビなど豊富な海の幸、大間の味をご家庭でも楽しめる加工品です。



「オコッペいもっこ」は「三円いも」の商品名。明治38年青森県がアメリカから導入。購入価格が6個で3円(当時は白米1俵5円30銭)もしたことがその名の由来。(町内奥戸地区で収穫)

オコッペいもっこ

ご当地グッズ

マガロをモチーフに作られたおもしろグッズから、実用品グッズ、旅の思い出になる置物など大間にしかないお土産が人気です。



昆布・海藻製品



潮の流れが速い津軽海峡は、高品質な海藻の宝庫です。ミネラル豊富な海藻の加工品。味噌汁やお料理にご活用ください。

ヒバ製品



優れた抗菌作用のある「ヒノキチオール」を含んでいる青森ヒバ。その天然成分を生かして作られた商品は、シャンプー、ボディソープ、チップを使った枕など多彩です。

ねばり昆布ラーメン

ねばり昆布を練りこんだ麺に塩味スープがよく合います。



大間町 観光マップ

本州最北端の地
大間
津鼻崎
大間園地テントサイト
マグロモニュメント&かもま〜る

- 6 北通り総合文化センター「ウイング」
- 7 西吹付山展望台
- 8 おおま温泉海峡保養センター
- 9 大漁祈願祭・天妃様行列
- 10 津鼻崎



1 最果ての地 本州最北端の地

The north end of the mainland

大間町の先端には「こ、本州最北端の地」の碑がそびえ立っている。大間崎と北海道の函館市汐首岬は17.5kmしか離れておらず、弁天島の向こうには渡島連峰をのぞむことができる。

▶アクセス/むつ市内より車で約60分・むつバスターミナルより下北交通バス佐井行きで100分、バス停大間崎下車

2 荒波の中に浮かぶ 弁天島

"Bentenjima" Benten island

大間崎の沖合い約600mの場所に浮かぶ弁天島は周囲2.7kmの小さな島だが、弁財天が祭られ、古くから漁師に信仰されている。島には高さ37m、白と黒のストライプの大間崎灯台がある。また、野鳥の宝庫としても知られている。

▶アクセス/むつ市内より車で約60分(大間崎まで) 大間崎より北を望む

3 薄幸の詩人の歌碑 石川啄木歌碑

Ishikawa Takuboku kahi

「東海の小島の磯の白砂に われ泣きぬれて蟹とたはむる」この歌について、地元では大間崎の沖合いにある弁天島のことを詠んだものと考えられている。近年、地元有志が集まり、弁天島が見えるこの地に歌碑を建立した。

▶アクセス/大間崎より徒歩で約1分

4 本州最北端の碑がすぐ近く 大間崎園地テントサイト

Omazakienchi Tent Site Omazakienchi Campsite

本州最北端のキャンプ場。北海道へ向かうフェリーの乗り場に近いのがうれしい。テント設営に便利な芝生が広がり、伸び伸びと過ごすことができる。

▶施設/水飲場、駐車場、炊事棟など ▶利用料/無料 ▶問合せ/0175-37-2111
▶アクセス/大間崎より徒歩1分

5 最北端のシンボル マグロモニュメント&かもま〜る

MAGURO(Tuna) Monument & KAMOMARU

大間のキャラクター

マグロの一本釣りをモチーフに造られたモニュメントは絶好の記念撮影ポイントです。真ん中に立っているのは大間のイメージキャラクター、町の鳥・かもめがモチーフの『かもま〜る』。様々なイベントで大間をPRしています。みなさん、可愛がってくださいね!

▶アクセス/むつ市内より車で約60分・むつバスターミナルより下北交通バス佐井行きで100分、バス停大間崎下車

6 文化、教育、健康の複合施設 北通り総合文化センター「ウイング」

Wing facilities for culture, education and sports

大間町、風間浦村、佐井村の3町村からなる「北通り」の総合文化センター。多目的ホール、図書室、視聴覚室、郷土資料展示コーナーなどの文化施設のほか、屋内運動場、温水プール、高さ30mの展望塔も備えている複合型文化施設。また、2014年青森ねふた祭りで知事賞と最優秀製作者賞を受賞した、「大間の天妃神 千里眼と哪叱」のねふたの面が展示されている。

▶設備/多目的ホール・図書室・視聴覚室・和室・展示コーナー・屋内運動場・温水プール・展望塔・休憩コーナー・幼児コーナーなど ▶開館時間/受付・展望室・図書館 9:00~17:00、視聴覚室・ホール・運動場・和室9:00~20:00、プール13:30~20:00(夏休みを除く平日)、10:00~20:00(土・日・祝・夏休み) ▶休館日/毎週月曜日(祝日の場合は次の平日)・年末年始(12/29~1/3) ▶問合せ・予約/0175-32-1111
▶アクセス/大間崎より車で約10分

7 津軽海峡の大パノラマ 西吹付山展望台

Nishifukisukeyama Observatory

旅を愛した明治の文人・大町桂月が、晩年に、大間からの眺めを「大間崎 空と海の間に長き蝦夷が島 消えてかはりぬ漁火の影」と詠んだ歌碑が立っている。展望台からは大間の町や津軽海峡、いざり火や函館の夜景も見られる。

▶アクセス/大間崎より車で約10分

8 おおま温泉 海峡保養センター

Omaekikyo Hoyo Center Oma Strait Health Facilities

本州最北端の温泉で、サウナ風呂もある。効能も数多く、湯治客にも人気があるが、日帰り入浴も可能なので、旅の疲れを癒しに立ち寄りたい。宿泊や宴会では、やはり新鮮な海の幸が評判だ。

▶日帰り入浴・利用時間/9:00~21:00 ▶入湯料/370円 ▶宿泊料金/1泊2食付7560円~ ▶問合せ/0175-37-4334 ▶アクセス/大間崎より車で約10分

9 色とりどりの大漁旗がたなびく 大漁祈願祭・天妃様行列

Taiyokigansai Festival of praying for good catch

大漁祈願祭が行われるのは、大間が初夏から夏に向かう7月。カラフルな大漁旗をひるがえし、漁船が一斉に海に繰り出して行く。船が荒々しい海の白波を切り、大漁を祈る海の男たちが勇ましく漁に出かけて行く様子はダイナミックで壮観だ。また、海の日に合わせて、天妃様行列が行われる。天妃様は台湾の海上守護の女神とされており、遷座してから300年を迎えた。1996年から大漁祈願祭に合わせて行列が行われている。

▶アクセス/大間港大間崎から車で5分

10 ダイナミックで爽やかな景観 津鼻崎

Tsuhazanazaki Cape Tsuhan

切り立った岩壁が荒々しい津鼻崎は「スカシユリ」の群生地、野の花が咲き、潮風が吹き抜ける心地の良い場所。岬の先端と西側は石英安山岩の柱状石で、頂上からの眺めは爽快。遊歩道を歩きながら自然を満喫できる。

▶アクセス/大間崎より車で15分



Bentenjima 弁天島

津軽半島、函館山、湯ノ川、恵山岬まで見渡せる海を背にカメラでハイポーズ!! やっぱりココまで来たからには1枚撮っておきたい。

マグロとそれを釣る力強い腕のモニュメント



- ① 本州
- ② 弁天島
- ③ 石川
- ④ 大間
- ⑤ マグロ

大間⇄函館間



津軽海峡フェリー
大函丸

展望台からの横やけ



8 木下津海峽保養所
木下津海峽保養所はナリキ町民の

普賢院
曹洞院福蔵寺が別当である普賢院。

10 至津島崎・佐井村方面